

校長室より 第14号

校長 瀧 俊彰



感動の嵐をまきおこした

楽しい文化祭でした。

10月5日文化祭が開催されました。9月に二つの台風に襲われ、文化祭までに体育館の安全を確保できるか心配しましたが予定通り文化祭を開くことができました。文化祭の開会にあたり生徒たちに次のような話をしました。

- ・台風で葛城中学校も大きな被害を受けた。停電が続き不便な生活を強いられ、学校も計3日休校になった
- ・練習、準備の時間も少なくなったが全員の頑張りで今日にこぎつけた。その頑張りに拍手を送りたい。
- ・今日の文化祭がこの体育館で予定通り開くことができるのは多くの人たちのお陰であることを忘れないでほしい。
- ・今までの練習の成果を十分発揮してほしい。観客としてしっかり発表を見てほしい。
- ・生徒会の文化祭スローガンは「感動の嵐をまきおこせ!」である。スローガン通り感動の嵐の中、文化祭の幕が下りることを期待している。みんなで文化祭を楽しもう。

そして文化祭が始まりました。まずは吹奏楽部の発表でした。楽器の演奏だけではなく合唱も披露してくれました。葛城中学校部活動最大の人数(37名)での演奏は大変迫力がありました。



続いて1年生の学年劇「Stand by me ドラえもん」の発表でした。1年生らしいかわいらしい劇でした。声もよく出て背景、音響も大変立派でした。来年が楽しみです。

2年生の学年劇は「はだしのゲン」でした。有名な作品ですが今まで見た中で最高のものでした。役者の真に迫った演技は本当に感動を呼ぶもので、戦争の悲惨さと強く生きることの大切さをしっかり表現してくれました。



最後を飾った3年生の学年劇「泥棒役者」。コミカルな部分もありテンポの良いセリフのやり取りは見事でした。またダンスも劇にアクセントをつける形になりました。最後の文化祭にかける3年生の気持ちも伝わってきました。



この文化祭で生徒の皆さんはいくつものことを得たはずですが。感動、達成感、所属感、一体感など。それらを今後の学校生活に生かしてほしいものです。